

ダム湖名の好感度分析に関する研究

山口大学工学部 学生員○小山 敬介 建設省土木研究所 正 員 竹林 征三
山口大学工学部 正 員 古川 浩平 山口大学工学部 正 員 中川 浩二

1. はじめに

ダム湖名は、ダム名を流用したり名前がない事が多々見られたが、ここ数年で新しく名付けたり、改名したりする傾向がみられる。ダム湖の景観設計、環境デザイン、周辺施設の整備等は重要であるが、名前の付け方によっては地域おこし（観光）等にも効果があると考えられる。本研究においては、表現方法の異なる名前の好感度を一対比較法で、また観光目的のダム湖名と、改名したダム湖名の改名前後の好感度やイメージをSD法でアンケートにより調べる。また、好感度要因を数量化Ⅱ類理論を適用し分析する。これらの結果を今後、ダム湖名を命名したり改名する場合の参考とする事が目的である。

2. アンケート内容

(1) 一対比較法

表現方法の異なるケース1及びケース2についてアンケートを実施した。表1にアンケート例を示す。

CASE1) 漢字、平仮名、片仮名、横文字

CASE2) ○○ため池、○○湖、○○ダム湖、○○貯水池

○○調整池、○○池

(2) SD法

アンケートは二回に分け、第一回アンケートではダム湖名に読み仮名及びコメントをつけずに、第二回アンケートでは、読み仮名及びコメントをつけて実施した。表2にそのアンケート例を示す。

3. 解析結果および考察

図1には一対比較法によるケース1の好感度、図2にはケース2の好感度を示す。図1より平仮名の好感度が最も高く、以下漢字、横文字、カタカナが続いている。図2から、○○湖、○○ダム湖、○○貯水池、○○池、○○調整池、○○ため池の順で好感度が高い事が分かる。いずれのケースにおいても男女間における好感度評価のばらつきはほとんど見られない。

図3、図4には第一回アンケート、第二回アンケートの好感度の平均値をそれぞれ示す。

図3より、リゾート地にあるダム湖、平仮名のダム湖の好感度が高い。同じリゾート地にある蓼科湖の好感度が土木関係者間のみで高いのは、土木関係者の住所が関東地方にあり、彼らの間でリゾート地としての蓼科湖の知名度が高かった為であると考えられる。逆に好感度の低いダム湖名は○○ため池等である。

図3と図4を比較すると、好感度が増加したダム湖名はユウユウレイク、茶霧湖、蓼科湖であり、これらのコメント中の「リゾート地、美しい、優しく、憩いの場」と言った言葉の影響が少なくないと考えられる。逆に好感度の下がったダム湖名は樺川湖、大門湖、レイクピア白水等でこれらのコメントは、○○川に出来た湖といった単純なもので被験者がそれ以上イメージを膨らます事が出来なかった為に好感度が下がったと考えられる。元々好感度や知名度の高いダム湖にコメントを付けても好感度にほとんど変化はみられない事も分かった。又、名前の由来が単純な場合コメントが逆効果を生むと考えられる。

1. (レイクピア)	レイクピア	2	3	4	5
2. レイクミドリ湖	レイクミドリ湖	1			
3. ミドリ湖	レイクミドリ湖	5			
4. (ミドリ)	レイクミドリ湖	3			
5. (レイクミドリ)	レイクミドリ湖	4			
6. ミドリ湖	(ミドリ)	3			

表1. 一対比較法によるアンケート例

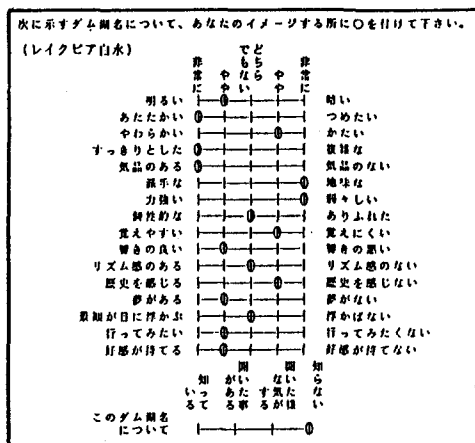
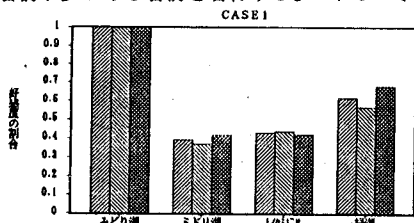


表2. SD法によるアンケート例

数量化Ⅱ類理論を適用し好感度要因分析を行った結果、「行ってみたい、みたくない」「景観が目につく、浮かばない」「響きの良い、良くない」「夢がある、ない」、「覚えやすい、覚えにくい」等の項目が好感度に与える影響が大きい事が分かった。

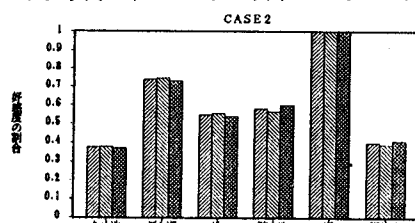
4. 結論

名前には字そのものが持つ様々な意味が含まれることを考慮し、今後ダム湖名を新たに名付けたり改名する場合に、まず平仮名、漢字、片仮名、横文字の優先順位で名付ける。〇〇ため池、〇〇調整池より、〇〇湖、〇〇ダム湖の表記形式が望ましい。響きの美しい名前、覚えやすい名前、良い景観をイメージしやすい名前、夢がある名前を名付ける。これらの事を参考にすると、より良いネーミングが出来ると考えられる。



■ 全体 ■ 男性 ■ 女性

図1. 各要素の好感度



■ 全体 ■ 男性 ■ 女性

図2. 各要素の好感度

参考文献)

- (1)建設省:ダム年鑑1993年 pp78~229
- (2)竹林 征三:ダム・ダム湖名称考
その22~23
- (3)古川 浩平、古田 均、仁多 和英:
一対比較法の最適耐震設計への応用
に関する研究
土木学会論文集 No. 368/I-5
pp393~400, 1986. 4
- (4)古川 浩平、古田 均、中尾 絵里子
浅津 直樹:フジ理論に基づく美観
を考慮した橋梁設計に関する一考察
土木学会論文集 No. 410/I-12
pp335~343, 1989. 10
- (5)Thomas L. Saaty:Measuring the
Fuzziness of Sets, Management and
Behavioral Science Center, Journal
of Cybanetics, 4, No. 4, pp53-61 1974
- (6)中國 真人、鈴木 昌次、古川 浩平、
中川 浩二:トンネル坑門デザイン
の心理評価構造に関する実験的研究
土木学会論文集No. 474/IV-20
pp85~94, 1993. 9

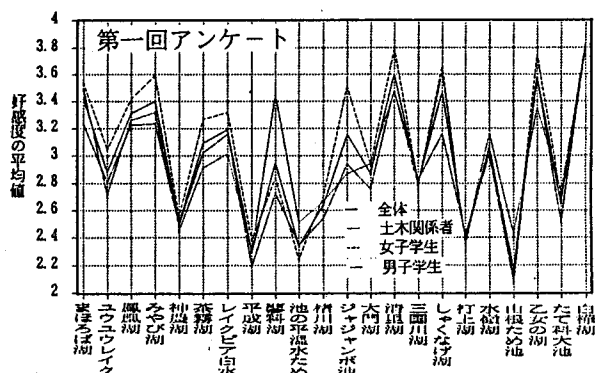


図3. 各ダム湖の好感度

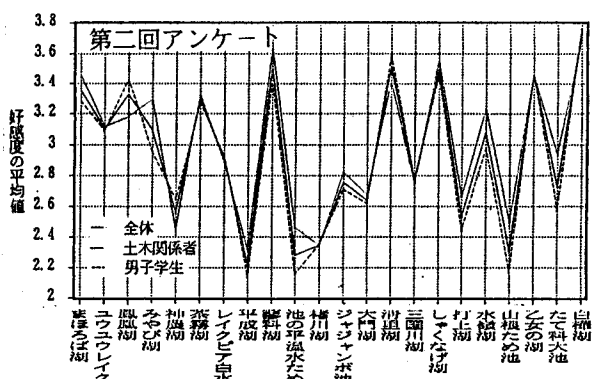


図4. 各ダム湖の好感度